

D Newsletter

FOR DESIGN INNOVATION CONSORTIUM MEMBERS Autumn/2015



CONTENTS

- p.2 Summer Design School 2015
- p.4 Design Seminars Series III
- p.5 Design Forum
- p.6 Design Innovation Center Fellow
- p.8 通常総会および第4回産学デザインシンポジウム
- p.9 Information





Summer Design School 2015

京都大学サマーデザインスクール2015 推奨テーマ「京都」

産学官の協働による3日間集中ワークショップ

9月16日(水)～18日(金)

「京都大学サマーデザインスクール」は、これまでにのべ900名以上が参加してきた、3日間集中のデザインワークショップです。京大生をはじめ産学官からの参加者と実施者が協働し、複雑な社会の実問題を解決すべく真剣に取り組みます。5回目となる今回は28のテーマが実施され、過去最大となる約300人が参加しました。

現代社会では諸問題が互いに影響を与え合い、単一の専門領域の力だけでは解決できなくなっています。このような社会的要請を背景に、京都大学デザインスクールでは、異なる分野の専門家との協働によって「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザインできる博士人材を育成しています。また産業界や行政との連携を強めるべく、「デザインイノベーションコンソーシアム」も設立しています。

5回目となる今年のサマーデザインスクールでは、デザインイノベーションコンソーシアム会員団体からもテーマを募集し、産業界から9テーマ、行政から2テーマ(京都市、経済産業省)が実施されました。産官が持つ社会の実問題や実践力と、学生の創造力や専門性が交わることで、テーマ実施者と参加者の相互学習の

場の形成をめざしました。さらに今回から、テーマに具体性や社会性を持たせるために「推奨テーマ」を導入。初回はサマーデザインスクールの舞台であり、伝統と現代性とが共存し多様な問題や可能性が見出だされる「京都」に設定しました。その結果、全28テーマのうち16テーマが京都に関するものとなり、今回初めて京都市からのテーマも実施されました。

9月16日から3日間かけて京都市リサーチパークで行われたワークショップでは、京大生、他大生、企業や行政から約300名が集まり、28テーマに分かれて取り組みました。

▶実施報告書は下記サイトでご覧いただけます。

http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2015/report/sds2015_report.pdf

実施テーマ一覧

※印はコンソーシアム会員から提案いただいたテーマ

テーマ名	実施者(代表)	
01 京都を世界のイノベーションハブに!	十河 卓司	京都大学デザイン学ユニット
02 京都のマンションの安心のデザイン:防災面を中心に	多々納 裕一	京都大学防災研究所
03* 京都の中小・ベンチャー企業の魅力を学生に伝える方法をデザインする	外山 泰	京都市産業観光局 新産業振興室
04 ドローンで京都の空中散歩をデザインする	荻野 正樹	関西大学 総合情報学部
05* 京都を訪れる外国人のためのサービスデザイン	白根 英昭	株式会社 mct
06 プロダクト・デザイナーのアイデア発想法から学ぶー“新しい京みやげ”を題材としてー	塚田 章	京都市立芸術大学 美術研究科
07* 卸売市場を核に街の魅力を創出するサービスデザイン	大野 健彦	日本電信電話株式会社 NTT サービスエボリューション研究所
08* 「健常者も憧れるスーパー車椅子」構想	信田 誠	京都市リサーチパーク株式会社 総合企画部
09* ESCORT DESIGN お出迎えからお見送りまでのデザイン	小野 未紗希	株式会社東芝 デザインセンター
10 きれいな住まい、京都にて。	大倉 裕真	京都大学工学研究科(デザイン学本科生)
11* バカげた「竹」の使い方をデザインする	寺田 知太	野村総合研究所
12 二度目の京都旅行を認知心理学でデザインする	高橋 雄介	京都大学教育学研究科
13 2020年における京都の子供たちの為の「学びの場」のデザイン	小山 誠之	パワープレイス株式会社
14* ふたたび足を運びたくなる場をデザインする~世代を超えて愛される老舗に学ぶ~	佐野 恵美子	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
15 Scannable KYOTO / 知のエコロジー・新京都学派のサロンー文脈を探 索し、文脈をデザインするー	山内 裕	京都大学経営管理大学院
16 京都観光に不便な仕掛けのデザイン	川上 浩司	京都大学デザイン学ユニット
17 データでデザイン! (Data de Design!)	佐藤 彰洋	京都大学情報学研究科数理工学専攻
18 文化的な視点の発見と知的好奇心による図鑑	中小路 久美代	京都大学デザイン学ユニット
19 ドローンを極める	永原 正章	京都大学情報学研究科
20 個人情報“を使って”医療と介護を創るデザイン	桑 直人	京都大学情報学研究科
21 Kawaii をデザインする	松原 厚	京都大学工学研究科
22 IoTと屋内位置情報の連携による新たなサービスのデザイン(東京オリ ンピック施設での実現を目指して???)	石原 克治	日建設計総合研究所 理事 / 京都大学 経営管理大学院
23 Save World's Endangered Languages! (世界の危機言語を救え!)	村上 陽平	京都大学デザイン学ユニット
24 老人とIT	大島 裕明	京都大学情報学研究科社会情報学専攻
25 ワークショップのための情報技術を考えよう	森 幹彦	京都大学学術情報メディアセンター
26 動かない自動車を活用する	平岡 敏洋	京都大学情報研究科システム科学専攻
27* デザイン通勤・通学の“時間の過ごし方”をデザインする	利根川 公司	株式会社博報堂関西支社 マーケティングG
28 「問いの教科書」をすてる	塩瀬 隆之	京都大学総合博物館





Design Seminars Series Series III 「アーバンデザイン」

生命と暮らしを育むスマートコミュニティ
9月30日(水)～10月2日(金)

デザインセミナーは、デザイン対象領域の理論を説く講義とデザイン理論を実践するワークショップを組み合わせたセミナーです。社会における複合的な問題を多角的に捉え、解決する能力の養成をめざす3日間集中のカリキュラムを行っています。第3回目となる今回は「アーバンデザイン」をテーマに行われました。

豊かな生命と暮らしを育むためには、人工物相互の関係や人工物と人間・環境との関係を含む「都市エリア」のデザインを展開することが必要です。そこで第3回デザインセミナーでは、デザイン対象を個々の敷地から都市エリアに拡張することにより、多くの問題の解決をめざす「アーバンデザイン」を取り上げ、「持続可能社会のための都市エリアのデザイン」を可能にする都市ビジョンの1つとして注目を集めている「スマートコミュニティ」について学びました。

スマートコミュニティについては、これまでは“再生可能エネルギーを最大限に利用する社会”の実現をめざすエネルギーや環境といったハードな視点から多く

の試みが展開されてきましたが、現在ではライフスタイルやコミュニティ運営を含むソフトな視点から持続可能な社会の実現をめざす多様な取組が始まっています。

今回のプログラムでは、①アーバンデザインの特性を理解し、そのデザイン原理を探求するとともに、②生命や暮らしの視点からスマートコミュニティのブレークスルーを図り、③デザインイノベーションのためのプロセスや手法および多主体による対話によるデザインの方法論を学び、参加者は5チームに分かれて実際の街づくりについてのワークショップを行いました。

Business Design Series

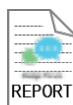
一東証主催「企業価値向上大賞」受賞— オムロン株式会社、 企業価値向上の取り組みとヘルスケア事業戦略について

宮田 喜一郎氏 オムロン株式会社 執行役員常務 CTO 兼 技術・知財本部長
2015年7月1日(水)



昨年、東京証券取引所から「企業価値向上表彰」の大賞に選定されたオムロン(株)の宮田CTO氏を講師にお迎えし、受賞理由ともなった「ROIC経営」と同社の企業価値向上への取り組みについてご講演いただきました。

一般的な財務指標の「ROS経営」でなく独自の「ROIC経営」を用いている理由、ROICを構成する要素のひとつ「逆ツリー展開」の手法についてご説明いただいた後、顧客への価値提供について、同社の血圧遠隔管理サービスを活用した被災地や離島における事例や商店街活性化の取り組みなどご紹介いただきました。



[http://designinnovation.jp/program/
design-forum/df-report/~vol5.html](http://designinnovation.jp/program/design-forum/df-report/~vol5.html)

Workshop Design Series

ワークショップで問うべき「問い」をデザインしよう!

安齋 勇樹氏 東京大学大学院 情報学環 特任助教
2015年4月25日(土)

ワークショップにおいてファシリテーションが果たす役割は大きく、成功させるためには事前のプログラムデザインが重要です。

今回は、ワークショップをデザインするための基本構造である「導入」「知る」「創る」「まとめる」のなかで、特にワークショップの成功に大きな影響を与える【創る活動】における“問い”の設定について、テーマを設けワールドカフェ形式で実践していただきました。



[http://designinnovation.jp/program/
design-forum/df-report/~vol5.html](http://designinnovation.jp/program/design-forum/df-report/~vol5.html)



Design Innovation Center Fellow 拠点フェローのご紹介

デザインイノベーションコンソーシアムでは、デザインイノベーション拠点において京都大学デザイン学の教員・研究員とともに産学官連携活動に携わっていただくための、フェロー制度（正会員Aから1名推薦可能）を設けています。今年度上半期に推薦され、京都大学学際融合教育研究推進センターから委嘱された4名のフェローをご紹介します。



今井 紘さん

オムロン株式会社
技術・知財本部 企画・CTO支援室 先行技術推進課

Message

製造業のR&D部門で研究開発に従事するなかで、特定領域の技術イノベーションのみによって顧客に価値提供することがますます難しくなっていると感じています。社会が成熟し価値観が多様化するなかで「誰がどんなことに困っているか？」を発見し、問題提起する能力、シンプルで強力な解決策を構想し実行する能力を研ぎ澄ませること。当たり前なのですが、技術開発の現場で今まさに求められていることだと思います。このような課題認識のもと、デザイン学の教

員・研究員との産学官連携活動を通じて、多様な専門領域を持つ人材による①「顧客観察に基づいた問題発見と複合的な視点からの問題提起」②「融合領域での最適な解決策と実行プラン」をデザインしていきたいと考えています。本活動を通じて、社会課題を解決する理想的な場とはどのような環境かを、みなさんと一緒に模索していきたいです。



白井 博志さん

株式会社博報堂
関西支社 支社長代理

Message

博報堂という会社は企業理念として「生活者発想」を掲げています。生活者発想とは、ひとこと言えば「消費者<生活者>」という考え方です。人は消費を目的に生きているわけではありません。食品・飲料も、家電品、自動車も、通信サービス、金融サービスも、生活する人間から見れば、自らの暮らしをより良くするために選んでいる手段や道具と言えます。目的は、モノやサービスの利用を通じた、豊かさや幸福の獲得にあるはずですが。個々の商品の買い手ではなく、暮らしの作り手である人間を「まるごと」観察し、その根源にある価値観や欲求の変化を読み解いていく…、そ

れが生活者発想という考え方です。デザインシンキングという考え方に初めて触れた時、すごくすんなり受け入れられたのはそのような考え方やプランニングプロセスに慣れていたからかもしれません。今後、イノベーションも、ますます生活者発想が重要になると思います。アカデミック領域の経験、大学等での教育に携わった経験は皆無ですが、30年以上の多様（雑多）な生活者発想マーケティング・ブランディングの実務経験を活かして、デザイン学ユニットやデザインイノベーションコンソーシアムの活性化・発展のお手伝いができるよう頑張りたいと思います。



泉福 剛さん

三菱電機株式会社
デザイン研究室

Message

人の本質を掴むような気づきを得たときのワクワク感、冴えたアイデアを創出したときの気持ち良さ、出来上がったデザインに喜んでもらったときの達成感。うまくいくことは少ないですが、これが楽しくてデザインを続けています。デザインを続けているなかで最近感じていることがあります。この数年で学生の作品集をたくさん拝見したのですが、サービスや社会システムなどさまざまな種類の提案が増え、デザインが

貢献する領域の広がりや、デザインに取り組みされる方の専門分野が多様化していることを実感しています。今回拠点フェローとして多くの方と一緒にデザインできるチャンスをいただきましたので、さまざまな領域のデザインについて、一緒に考えてみたいと思っています。



栗田 恵吾さん

株式会社日本総合研究所
未来デザイン・ラボ ディレクター

Message

「未来は今ここにある」。これはSF作家ウィリアム・ギブスの言葉ですが、未来変化の兆しを直観的に掴むことで、先入観や硬直化した思考を解放し、日本の明るい未来を自らの手で創り上げていくような創造的な人材・組織・プロセス・ネットワークなど、イノベーションのためのエコシステムの開発に貢献していきたいと考えています。京都大学デザインイノベーション拠点が、さまざまなバックグラウンドを持つ教員・学生・ビジネスマンらが創発的にイノベーションエコシステムを創り上げていく場となることを期待していますが、人

間はどうしても自分が得意とする思考方法や解決手段などにこだわるあまり、未来において重要となる課題をうまくとらえきれずに行き詰ることがあります。私からは未来洞察ワークショップという方法論の提供を通じて、問題解決力の決め手となる「本質的な課題を発見・共創する力」を支援していきたいと思います。また、参加者のみなさんと一緒に、創造的な問題解決につながる方法論の研究開発ができればこれほどうれしいことはありません。どうぞよろしくお願いいたします。

通常総会および第4回産学デザインシンポジウム

2015年5月27日(水)

平成27年度の通常総会を開催。その後、京都大学デザインスクールとの共催で、産学連携によるデザイン活動をめざしたシンポジウムを開催。ゲストにBarry Katz 教授 (IDEO,Stanford Univ.) をお招きし、米国西海岸における産学のデザイン活動をご紹介いただきました。

また、京都大学のデザイン活動の報告とあわせて、特別企画として、山極壽一京都大学総長と鷺田清一京都市立芸術大学理事長・学長 / 大阪大学前総長をお招きし、創造性教育やデザイン学をテーマにした対談を実施しました。



2015年度 役員・推進委員

(敬称略)

〈役員〉

会長	大竹伸一	西日本電信電話株式会社 相談役
副会長	門内輝行	京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授
理事	田中健一	三菱電機株式会社 役員技監
	三浦智康	株式会社野村総合研究所 執行役員 未来創発センター長
	宮田喜一郎	オムロン株式会社執行役員常務 CTO 兼技術・知財本部長
	守倉正博	京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻 教授
	山本和彦	森ビル都市企画株式会社 代表取締役社長
財務担当理事	川上浩司	京都大学デザイン学ユニット 特定教授
監事	徳賀芳弘	京都大学経営管理大学院 教授

〈推進委員会〉

委員長	川上浩司	京都大学デザイン学ユニット 特定教授
副委員長	十河卓司	京都大学デザイン学ユニット 特定准教授
幹事	木村千恵子	京都リサーチパーク株式会社 執行役員産学公連携部長
	畑中哲夫	株式会社竹中工務店 大阪本店設計部情報・事務部長
担当理事	守倉正博	京都大学情報学研究科通信情報システム専攻 教授
委員	門内輝行	京都大学工学研究科建築学専攻 教授
	宮田喜一郎	オムロン株式会社執行役員常務 CTO 兼技術・知財本部長
	三浦智康	株式会社野村総合研究所 執行役員未来創発センター長
	越智通有	西日本電信電話株式会社 技術革新部担当課長
	川島克也	株式会社日建設計 取締役常務執行役員
	白井博志	株式会社博報堂 関西支社支社長代理
	辻野克彦	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所業務部技術情報課長
	石田 亨	京都大学情報学研究科社会情報学専攻 教授
	黒橋禎夫	京都大学情報学研究科知能情報学専攻 教授
	榎木哲夫	京都大学工学研究科機械理工学専攻 教授
	塩瀬隆之	京都大学総合博物館 准教授
	貫井 孝	京都大学デザイン学ユニット 特任教授
	松井啓之	京都大学経営管理大学院 教授
	松原 厚	京都大学工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 教授
	山内 裕	京都大学経営管理大学院 准教授

Welcome!

平成27年9月末までに
右の会員が入会され、総会
員数51組織となりました。

正会員A：27組織
正会員B：20組織
特別会員：4組織

正会員 A

- パナソニック株式会社
- 川崎重工業株式会社
- 株式会社日本総合研究所

正会員 B

- 株式会社サクラクレパス
- 株式会社ワオ・コーポレーション
- 鳥取瓦斯株式会社
- 京セラ株式会社中央研究所



CONTACT & INFORMATION



ニュースレター発行：
デザインイノベーションコンソーシアム推進委員会

事務局：
京都リサーチパーク(株)
産学公連携部内
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
TEL 075-315-8522 FAX 075-322-5348
<http://designinnovation.jp> E-Mail: info@designinnovation.jp

本ニュースレターの配信登録・削除は以下からお願い致します。
<https://pro.form-mailer.jp/fms/a54f7d5d58943>